



事、運動会、二中音楽会、輝光祭は大いに盛り上がりです。生徒が運営の主体になり、最高の行事を作り上げています。このように自分たちの力で築き上げる校風は野木第二中の自慢です。

「あいさつ運動について」

書記 内堀 真彩

野木第二中学校では、学校生活や各行事において、生徒主体の活動を行っています。その中心となっている生徒会役員から紹介してもらいます。

「生徒主体について」

会長 蓬田 周

野木第二中の生徒会活動は生徒会スローガンである「自ら動く」を目標として、日々の委員会活動では回収活動や校内生活向上の呼びかけなど一人一人が積極的に活動しています。特に、野木第二中で生徒主体が存分に発揮される三大行

身につけ、自問してやることで思いやり、気付き、感謝の心を身につけようとしています。指示された場所だけでなく、自分で汚れたところを探すことは生徒会スローガンである「自ら動く」と重なる部分が多くあります。将来、社会で役立つスキル、心を育てるために全校で頑張っています。

「部活動について」

二年副会長 松本 彩葉

野木第二中には現在、野球部、サッカー部、弓道部、ハンドボール部、ソフトテニス部、バスケットボール部、バレーボール部、卓球部、美術文化部、吹奏楽部の計十の部活動が大会での好成績、コンクール入賞を目指して活動しています。各大会の前には部長が抱負を集会で発表するなど、全校で部活動への意識を高めています。また、学校外で活動することも多いので、普段から礼儀、あいさつなども気をつけて生活するよう心がけています。

「運動会について」

三年副会長 平尾 李桜

野木第二中の運動会は、縦割りの赤団・白団・青団で実施しています。練習期間は約二週間という短い期間ですが、先輩は先輩を見て学び、先輩は率先して後輩を引っ張っています。練習は楽しいことばかりではなく、苦しいこともあります。ですが、一人一人が自分の競技や係の仕事に責任をもち、みんなで声を掛け合いながら参加する姿も魅力の一つです。そうした団として過ごした密度の濃い時間が、勝敗に関わらず、感動を引き起こします。毎年、感動の涙を流す生徒も少なくありません。そして、野木第二中の多くの生徒のかけがえのない思い出となります。

「二中音楽会について」

会計 金子 ちはる

二期期が始まると学校のあちこちできれいな歌声が聞こえてきます。二中音楽会でハーモニー大賞を取るために各クラスで、日々練習に励んでいます。練習で

は先輩と後輩で歌を発表し合い、刺激を受けながら練習しています。これも野木第二中の良き伝統です。もちろん昼休みや放課後も学校中に歌声が響き渡り、学校全体が高めていきます。そうした練習の成果を二二スホールという大舞台で披露する経験はかけがえのない思い出になります。

「輝光祭について」

書記 岩本 拓真

野木第二中の生徒会スローガンである「自ら動く」を達成すべく生徒全員が主体的に活動します。今年度から輝光祭は委員会と学級での活動の二本立てになりました。当日、見て楽しむだけでなく、運営したり、楽しんでもらったりする活動を通して大きな達成感を感じることが出来ます。また、クラスでは全員で一つの展示物を製作し、その過程でクラスとしての学びを共有して、より仲を深めることができる三大行事の最後にふさわしい行事です。